

## 令和8年度蓮田市学習支援事業業務委託 プレゼンテーション審査 提案評価集計表

評価項目		評価の視点	一般社団法人 彩の国子ども・若者支援 ネットワーク	A社	B社
評価項目		合計点	合計点	合計点	
基本的 事項	1	・生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生・高校生・中学校卒業後未進学者・高校中退者を対象とした貧困の連鎖を断つ事業の目的を的確に理解しているか	34	24	33
	2	・事業の対象者及びその置かれた状況等について十分な知識を備えているか(生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生及び高校生等の置かれた状況) ・県内の高校進学率、高校中退率、就学・就職等の進路情報等を認識しているか	34	20	31
	3	・提案書の構成に工夫があり、実施方針が明確に示され、全体的に意欲が感じられるか ・目標達成に向けての効果的な手法の提示はあるか ・団体のノウハウや情報を活用する提案内容で、独自性・斬新性があるか	35	30	36
	4	・事業の実施方法が現実的であり、十分に実施可能な手法であるか ・履行期限までの工程が検討されており、妥当な計画になっているか	35	24	33
	5	・事業の実績や効果、課題等を分析し、評価することができるか	34	23	32
業務実 施体制	6	・業務が円滑に進むよう必要・十分な担当者を配置する計画となっているか(教員免許や社会福祉士等の資格を持つ専門家の配置)	37	25	31
	7	・危機管理体制は適切か ・個人情報の管理方法は適切か ・クレーム処理の対応方法は適切か	32	29	36
	8	・類似業務の実績はあるか	37	19	36
	9	・業務委託事業所として適正か	37	22	36
業務実 施方法	10	・支援対象者に応じた学習指導ができるか ・利用者個々のレベルに合わせた支援を提供できる体制となっているか	35	32	32
	11	・学習、生活相談の対応や生活支援は明確になっているか	32	22	31
	12	・支援対象者に応じた進路選択支援ができるか ・高校進学及び卒業、大学等進学、就職等の必要性を理解させることができるか ・進学や就職支援について、対象者の実態に即した助言ができるか	34	28	32
	13	・中途退学防止のための支援は明確になっているか	32	21	27
	14	・引きこもりや不登校の子どもの支援方法は明確になっているか	32	21	31
	15	・訪問支援が円滑に行える体制が確保されているか	30	24	30
	16	・困難を抱えた親の養育相談に応じることができるか	32	22	29
	17	・学校やスクールソーシャルワーカー、民生委員・児童委員など、学習支援に必要となる社会資源や関係機関との連携ができるか	31	19	31
	18	・生活困窮者自立相談支援事業などの市事業と密接な連携が図れるか ・市福祉事務所などとの情報共有・連絡体制は適切か	33	24	31
	19	・学習教室を運営するために十分なボランティアが確保できるか ・学生の派遣を受けている大学との連携体制は取れているか ・ボランティアと連携した学習教室の運営を行うことができるか ・ボランティアの資質向上に向けた研修等の取組を行っているか	36	22	29
積算内 容	20	・費用の積算は適切な内容になっているか	120	140	120
合計点		762	591	727	
採点基準 ( 1: 不十分 2: やや不十分 3: 普通 4: 優れている 5: 特に優れている)					

※満点(120点×8人=960点)の6割以上である合計576点が最低制限基準点となります。